

平成30年6月6日

関係機関の長 殿

国立大学法人佐賀大学農学部長

有馬 進

(公印省略)

助教(卓越研究員)の公募について(依頼)

時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記により教員を公募することとなりました。佐賀大学は、地域創生の拠点大学として、地元自治体や企業との連携を図りつつ、地域の農水産業および関連産業の振興に寄与するため、「地域の農水圏生物生産・利用技術等の高度化」に関するプロジェクト研究を推進しています。本学では、平成31年度に学部改組を行う予定であり、本公募で募集する教員については農学部のスタッフとして、改組後には「生命機能科学コース」の教育研究に参画し、特に「水圏生物学」、「藻類学」、「水産増養殖学」を基盤とした応用水圏研究を推進する若手研究者を募集します。

つきましては、貴機関関係者各位へ御周知いただくとともに、適任者の推薦についてよろしくお取り計らい願います。

記

1 所属

農学部生命機能科学科

2 所属教育研究分野名

藻類・ベントス学分野(新設予定)

3 職名(任用者数)

助教(1人:テニュアトラック制適用)

4 応募資格:卓越研究員候補者への申請者であって次の各号を全て満たす者

- (1) 担当専門分野における博士の学位を有する者
- (2) 「水圏生物学」、「藻類学」、「水産増養殖学」を基盤とした応用水圏研究に実績がある者
- (3) 二枚貝やノリ等に関する生化学、分子生物学的な研究に実績がある者
- (4) 「地域の農水圏生物生産・利用技術等の高度化」プロジェクトに参画している教員と連携して、佐賀県の水産業を発展させるために、応用水圏研究分野の教育研究に参画し、二枚貝やノリ等の水産資源の高度利用化や高ストレス耐性を有する品種開発、水産食品製造加工につながる研究を推進できる者
- (5) 医学部や理工学部との共同研究を推進し、異分野融合領域で橋渡しの役割ができる研究者
- (6) 新領域研究の創成に意欲があり、教育と社会貢献に熱心な研究者

5 応募期限

平成30年7月17日(火)17時必着

6 着任予定年月

平成30年10月1日以降のできるだけ早い時期

7 応募に必要な書類

- (1) 履歴書(高等学校卒業以後の履歴を記入したもの。別紙記入例参照)
 - (2) 出身大学が発行する学位取得証明書(原本) 1部
 - (3) 応募者について意見を伺うことができる方2人の氏名及び連絡先,あるいは推薦書1通
(冒頭に作成日及び推薦者の所属・職名を記入し,署名したもの。1, 200字以内)
 - (4) 研究業績目録(学術著書・訳書, 研究論文, その他。別紙記入例参照)
 - (5) 研究業績説明書(個々の業績を関連付けて全体を総括したもの。3, 600字以内)
 - (6) 研究業績目録に記載された学術著書・訳書及び研究論文のうち, 主要なもの12編程度の本刷, 別刷又はコピー(審査後に返却します。)
 - (7) 専門分野における教育・研究活動, 学会活動, 社会活動, 国際活動及び科学研究費などの公的研究資金導入の状況(冒頭に作成日及び氏名を記入したもの。)
 - (8) 着任後の教育・研究に対する抱負(冒頭に作成日及び氏名を記入したもの。1, 200字程度)
- 注) 応募書類は, A4判, 横書きとして下さい。

8 応募書類の提出先

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学農学部総務係

(※封筒に「卓越研究員(藻類・ベントス学分野)応募書類在中」と朱筆して下さい。)

9 本公募についての問合せ先

佐賀大学農学部

学部長 有馬 進

Tel. 0952-28-8713 Fax. 0952-28-8709 E-Mail: arimas@cc.saga-u.ac.jp

(備考)

- 1 本公募で採用する助教は, 卓越研究員事業のテニュアトラック制による助教で, 勤務形態は専門業務型裁量労働制, 給与は年俸制(国立大学法人佐賀大学年俸制教員給与規程による。)です。
(雇用期間:平成35年3月までの5年間(その後, 任期の無い教員として採用する場合があります。))
- 2 本学は, 鹿児島大学大学院連合農学研究科の構成大学となっており, 本学教員は連合農学研究科委員会の審査を経て, 博士課程の担当教員になることができます。
- 3 選考過程で来学の上, 講演をお願いする場合があります。その場合, 面接にかかる旅費・滞在費は応募者の自己負担とします。
- 4 本学では, 男女共同参画社会基本法, 佐賀大学ダイバーシティ推進宣言(平成29年)の精神及びポジティブ・アクションに基づき, 教員の選考を行っております。
- 5 提出いただきました個人情報, 本学個人情報の保護に関する規程に準じて適正に管理し, 本選考以外の目的には使用いたしません。

(記入例)

研究業績目録

2018年6月6日

佐賀太郎

学位論文

L-乳酸発酵をモデルとした回分培養の速度論的解析に関する研究
博士（農学）（九州大学農博乙第1448号）

業績は古い順に
記載。通し番号
をふる。

単著、共著に関わらず
申請者氏名には必ず
アンダーライン

雑誌名はフルタイトル
とし、省略不可

Corresponding Author
には右肩に*をつける。

論文 I

論文 I-1

佐賀太郎, 佐賀次郎, 佐賀三郎*, 1998 年
畜産動物の育種と.....
日本農業動物学会誌 4: 159-167

論文と論文の間には1行のスペースをあける。ラインなどは引かない。

論文 I-2

T. Saga, J. Saga, S. Saga, 2007 年
High-frequency generation of viable mice from engineered bi-maternal embryos.
Nature Biotechnology, 25: 1045-1050

論文 II

論文 II-1

佐賀太郎, 佐賀次郎, 佐賀三郎, 2003 年
日本ウズラ長期選抜系統.....
佐賀大学農学部彙報 88: 73-78

著書

著書-1

佐賀太郎 (分担執筆) . 1997 年
育種理論 p.30-34、乳牛の改良 p.349-354

1冊の中に複数の執筆箇所がある時にも1冊として整理する。

佐賀次郎 編

畜産総合事典、朝倉書店

特許は発明者と公開年、
出願番号、公開番号、特
許番号を記載する。

その他

その他-1

佐賀次郎, 佐賀太郎, 1992 年

出願番号：特願平 3-217948 公開番号：特開平 5-30980 特許番号：第 2816777 号

共重合体およびその製造方法

Proceedings はその他に
含める。

その他-2

T. Saga, J. Saga, S. Saga, 1998 年

Quantitative trait loci (QTL) analysis in a Meishan x Goettingen cross population

Proceedings of the 6th World Congress on Genetics Applied to Livestock Production

26: 320-323

その他-3

佐賀太郎, 2007 年

核内受容体クラス I 遺伝子とその応答配列について

動物遺伝育種研究 35: 173-179

研究業績の書式について

- (1) 1. 学位論文, 2. 論文Ⅰ, 3. 論文Ⅱ, 4. 著書, 5. その他 の順に記載すること。
- (2) 「論文Ⅰ」と「論文Ⅱ」の区別は鹿児島大学大学院連合農学研究科の教員資格審査判定基準（申合せ及び社会科学系の論文の取り扱いについてを含む。）に従う。

平成30年6月現在の論文Ⅰの要件

- 1 PubMed に登録されている学会誌
 - 2 Thomson ISI list に登録されているインパクトファクター付き学術雑誌
 - 3 日本学術会議協力学術研究団体又は第19期日本学術会議登録学術研究団体が発行する学術雑誌
 - 4 その他（連合農学研究科代議委員会で承認された学会誌）
「環境毒性学会誌(出版学会：日本環境毒性学会)」
「北日本漁業（出版学会：北日本漁業経済学会)」
 - 5 社会科学系で掲載論文を論文Ⅰにカウントする対象雑誌
『日本の農業』（農政調査委員会）
『東畑四郎記念研究奨励事業報告』（農政調査委員会）
『農業総合研究』（農業総合研究所）
『農林水産政策研究』（農林水産政策研究センター）
『アジア経済』（アジア経済研究所）
『農耕の技術と文化』（農耕文化研究振興会）
『協同組合奨励研究報告』（全国農業協同組合中央会）
- (3) 「論文Ⅰ」, 「論文Ⅱ」は学術雑誌に掲載された原著論文とし、それ以外の総説、技術報告、技術解説、報告書、特許、データベース、Proceedings などは「その他」とする。
なお、講演要旨（Abstract）は研究業績には含めない。
- (4) 作成にあたっての注意
- 1 英語題名は、原則として始めの1字のみを大文字とし、他は小文字とする。
 - 2 発行所、学会誌等の名称は略さない。

履 歴 書

氏 名	佐賀 太郎(さが たろう)
生 年 月 日	XXXX 年 XX 月 XX 日(XX 歳)
本 籍 地	佐賀県
現 住 所	佐賀市本庄町1番地

履 歴

年 月	事 項
XXXX 年 XX 月	〇〇立〇〇高等学校卒業
XXXX 年 XX 月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
XXXX 年 XX 月	同上卒業(〇〇学士又は学士(〇〇))
XXXX 年 XX 月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇専攻入学
XXXX 年 XX 月	同上修了(〇〇修士又は修士(〇〇))
XXXX 年 XX 月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻進学
XXXX 年 XX 月	同上単位取得退学
XXXX 年 XX 月	日本学術振興会特別研究員(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇博士又は博士(〇〇)(〇〇大学)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助手又は助教(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	文部省在外研究員(米国, ウィスコンシン大学)(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学講師(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	海外研修(ベルギー, ゲント大学)(XXXX年XX月まで)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助教授又は准教授(〇〇学部)
XXXX 年 XX 月	〇〇大学助教授又は准教授(連合農学研究科)併任
XXXX 年 XX 月	〇〇大学教授(〇〇学部)
	現在に至る
	(賞罰)
XXXX 年 XX 月	〇〇賞受賞

注. 3ヶ月以上の海外留学, 内地留学, 海外出張及び海外研修は記入すること。